

極域・寒冷域研究連絡会のご案内

極域・寒冷域研究連絡会より、1998年秋季大会（仙台）での開催内容のご案内を致します。

日時：1998年10月22日（木、大会3日目）17：30頃～2時間程度

場所：大会B会場（宮城県民会館602中会議室）

話題：

1) 一般講演

「グリーンランド海およびバレンツ海におけるCO₂循環に関する研究」

吉村 悟（東北大学大学院）

「寒冷域陸面過程のモデル化とシベリアへの適用」

山崎 剛（東北大学理学部）

「北極圏航空機観測（AAMP98）における微量気体観測」

菅原 敏（宮城教育大学）

2) 南極観測第6期5か年計画に向けての討論

前半は、仙台開催に合わせて、東北大学及び宮城教育大学の3名の方に寒冷域における最新の研究を紹介していただきます。寒冷海洋域の二酸化炭素循環、寒

冷域の陸面過程のモデリング、大気微量成分の観測、などバラエティに富んだ話題を取り上げます。

また後半では、2002年からの南極観測第6期5か年計画に向け、どんな研究が必要か、おもしろそうか、議論したいと考えています。なお、国立極地研究所では、大気微量成分観測の継続と発展、及び内陸における高層ゾンデ、ウィンドプロファイラー等の観測の無人化に向けた試験的観測を検討しています。

皆様、ふるってご参加下さい。

開始時刻の詳細は学会会場にてご案内致します。

代表：木村竜治（東京大学海洋研究所）

世話役：平沢尚彦（国立極地研究所）

高田久美子（国立環境研究所）

阿部彩子（東京大学気候システム研究センター）

浮田甚郎（地球フロンティア研究システム）

中村 尚（東京大学理学部）

本田明治（地球フロンティア研究システム）

第15回 IGBP/GAIM 研究会のお知らせ

下記の日程で第15回のGAIM研究会を開催します。

開催日時：1998年10月23日（金）午前9時30分～12時

場所：東北大学

内容：招待講演（45～60分）

自由発表（20～30分）

詳しくは、大会会場に掲示します。

研究会では、地球圏と生物圏との間の相互作用を研究されておられる方の講演を募集いたします。希望者は、

1998年10月12日（月）までに、講演題目をFAXかe-mailでご連絡下さい。

講演申込先：〒305-8571 つくば市天王台1-1-1

筑波大学生物科学系 及川武久

Tel. & Fax. : 0298-53-6661

E-mail : toecolog@sakura.cc.tsukuba.

ac.jp